

## バラ

バラはバラ科のバラ属 (*Rosa*) に属し、北半球の亜熱帯から寒帯にかけて広く分布しています。その野生種は 150 ~ 200 種程度あるとされ、そのうち園芸品種の育種に用いられてきたものは 10 種前後といわれています。

### 中国のバラから四季咲き性を導入

19 世紀の初め、フランスではナポレオン皇妃ジョゼフィーヌ (1763-1814) が、当時手に入れることができたすべてのバラ約 250 種類をマルメゾン宮のバラ園で栽培させており、雇われた園芸家が庭にあるバラどうしを交配して新しい品種をつくりはじめました。なかでも 18 世紀末から 19 世紀初めにかけて中国から渡ってきた四季咲き性の園芸品種が注目を集め、それらを用いた育種がフランスを中心にヨーロッパで盛んに行われるようになりました。

四季咲き性のバラは、新たに伸びた枝の先に必ず花芽をつけて開花する性質を持ち、冬の休眠期を除いて繰り返し開花します。中国では古くからバラが栽培されており、野生種のロサ・キネンシスとロサ・ギガンテアをもとに発展しました。宋代 (960-1279) の洛陽には約 40 品種あったといわれています。



上図：アンドレア・アッピアーニ画「ジョゼフィーヌの肖像」(1808 年頃) (Wikimedia Public domain)

### 日本の野生バラが育種に貢献

日本には野生バラが 16 種類ほどあります。そのうちノイバラ、テリハノイバラ、ハマナスなどが 19 世紀にヨーロッパに渡り、バラの品種改良の歴史上、重要な役割を果たしてきました。

### ノイバラから房咲き性を導入

ノイバラは、沖縄以外の日本各地に自生し、小輪一重の白花が大きな円錐状の房になって咲く、一季咲き、落葉、半つる性のバラです。

ノイバラは 1862 年にフランスのリヨンに渡り、育種家のジャン＝バティスト・ギヨー・フィス (1827-1893) が育種において小輪房咲きのポリアンサの系統を育成しました。

さらに、デンマークのスペント・ポールセン (1884-1974) は、ポリアンサとハイブリッド・ティーの交配から、1924 年にフロリバンダの系統第 1 号となる「エルゼ・ポールセン」を育成しました。その後、中輪房咲きのフロリバンダ系統は、ガーデンローズの主流として発展を遂げていきました。



上写真：ノイバラ (Wikimedia Public domain)



上写真：「アンナ・マリード・モントラベル」(フランスで 1879 年に作出) ポリアンサの系統に属するごく初期の品種です。



上写真：「オルレアン・ローズ」(フランスで 1909 年に作出) フロリバンダ第 1 号「エルゼ・ポールセン」の親となったポリアンサ。

### テリハノイバラから 強健なつるバラを育成

テリハノイバラは、本州、四国、九州、沖縄の海岸や河川敷の砂礫地に自生しています。小輪一重の白花を咲かせ、葉には光沢があり、しなやかな茎が地上を長く這う、一季咲き、常緑、つる性のバラです。

テリハノイバラは 1880 年にベルギーのブリュッセルとドイツのミュンヘンに送られ、強健で伸長力が強い性質を生かした育種が行われ、ハイブリッド・ウィクラナと呼ばれるつるバラの系統が育成されました。



上図：テリハノイバラ (The genus *rosa*. v.1:pt.1-16, 1914 年) (Biodiversity Heritage Library)

### ハマナスから耐寒性を導入

ハマナスは、東アジアの温帯から冷帯にかけて分布し、日本では北海道に多く、本州太平洋岸では茨城県以北、本州日本海岸では鳥取県以北に分布します。5 ~ 8 月に赤花 (まれに白花) を咲かせます。花は比較的大輪で、花と実が楽しめ、秋には葉が色づき落葉します。

ハマナスは 1796 年に日本からイギリスに渡り、その耐寒性と耐病性が注目されました。ヨーロッパのバラには耐寒性が弱いものが多かったため、寒さの厳しいドイツなどでは、ハマナスを用いた品種改良が盛んに行われました。

ドイツのウィルヘルム・コルデス 2 世 (1891-1976) は、ハマナスとテリハノイバラの交雑種から見出したロサ・コルデシーをもとに、耐寒性・耐病性が強いハイブリッド・コルデシーの系統を育成しました。



上図：「ドルトムント」(1955 年にドイツで作出) (Wikimedia Public domain) ハイブリッド・コルデシー系統の銘花です。



上図：「ドクター・ヴァン・フリート」(1899 年にアメリカで作出) を紹介するアメリカの広告 (The Conard & Jones Co. Roses, 1920 年) (Wikimedia Public domain) テリハノイバラの子孫で樹勢が強く、耐病性・耐寒性が非常に強い一季咲きの品種です。



上図：ハマナス (The Gardeners' Chronicle. Nov 2, 1878 年) (Biodiversity Heritage Library)